

秋高OB県外有志から「秋田市新屋へのイージスアショア設置問題」についての申し入れ

秋田県知事 : 佐竹敬久 様
秋田県議会議長 : 鶴田有司 様 ならびに秋田県議会議員の皆様
秋田市長 : 穂積 志 様
秋田市議会議長 : 小林一夫 様 ならびに秋田市議会議員の皆様

2018年8月21日(火)

「秋高OB県外有志」: 戸田ひさよし : 大阪府門真(かどま)市市議会議員
〒571-0048 大阪府門真市門真市新橋町12-18三松マンション207
TEL ; 06-6907-7727 FAX ; 06-6907-7730

HP : <http://www.hige-toda.com/> メールアドレス : toda-jimu1@hige-toda.com

私は天王町(現:潟上市)で1956年に教員夫婦の長男として生まれ、東湖小学校・天王中学を経て秋田高校に進み、1974年(昭和49年)卒業後の大阪大学進学を契機に大阪に転居して以降、トラック運転手などを経て1999年(平成11年)からは門真(かどま)市議会議員を5期連続で務め、62才になる現在まで44年間ずっと大阪に居住している者です。

子供心をときめかせた東湖小学校となりの八坂神社のお祭り、柔道部で汗を流した中学時代、男鹿線(旧名:船川線)で秋高に通った日々、寒風山、男鹿半島、八郎潟・・・、どれもこれも懐かしくてたまらない思い出であり、私の人生の基礎を作ってくれたものです。

「ふるさととは遠きにありて想うもの」との言葉もあります。

永らく県外に居住してはいても、ふるさと秋田を想い、気遣い、愛する心はずっと抱き続けています。

秋田の人口減少には心を痛め、全国ニュースで流れる秋田の大臣や国会議員の醜聞などには恥ずかしさと憤りを感じつつも、「原発も米軍基地も無い平穏な秋田」、「教育力の高さで全国から注目される秋田」などに安心と誇りを持ち、「ゆっくりペースであってもやがては発展していく秋田」に期待し、秋田で地域起こし・まち起こしに努力を重ねておられる県内各界の人々に深く敬意を抱き続けています。

小・中・高の同窓会や大阪での県人会などに時折は参加して「秋田への想い」を語らいあってきました。

そういう「秋田を愛する県外居住者」の私にとって、今般持ち上がった「秋田市新屋へのイージスアショア設置計画」は到底座視する事が出来ません。

戦時には真っ先に狙われて周辺広範囲に被害をもたらす事必至であり、「平時」でも「周辺のヘリ飛行が禁止される程の電磁波障害」と「軍事機密の固まりゆえの住民監視抑圧体制」をもたらすイージスアショアを、よりによって「県都中枢直近・住宅産業地帯直近」に、具体例を挙げれば、商業高校から300m、県営プール/県立野球場や勝平小学校から数百m、市立/県立体育館・県立図書館・秋田市保健所等から1.5km～2km、県庁/秋田市役所・県警本部・秋田地裁/地検・市立総合病院等から2.5km前後の所に設置するとは!? まさに「到底正気の沙汰とは思えない」事案です。

こんな無茶苦茶な押しつけがされるのは、世界中でも例が無いはずです。

そこには「秋田の田舎者には何をしたらって構わない。何でもお上の自由になるさ」という、安倍自公政権による秋田県民への見下し意識がプンプンと臭っており、秋田県出身者として不愉快の極みです。

そのため私は、自身のHP内に詳しい解説地図付きのイージス問題特集を作り、毎夏恒例の「母親見舞のバイクツアー」に重ねて今回、県市当局への申し入れと新屋現地視察・交流取材を企画した次第です。

どうか秋田県知事・秋田市長、秋田県議会、秋田市議会のみなさまにおかれましては、秋田市新屋の自衛隊演習場へのイージスアショア設置に対して毅然として反対して下さいよう、強くお願い申し上げます。

もちろん「秋田高校OB」にも様々な人間がいます。1995年に公明党で秋田市議に当選して現在は秋田県議として公明党秋田県本部代表を務める「田口さとし」氏は、私と同じ74年卒同期だし(なぜか卒業以来一貫して同期会に音信不通らしいですが)、自民党衆院議員の「金田勝年」氏は私の7年先輩、自民党参院の「石井浩郎」氏は9年後輩、「中泉松司」氏は23年後輩で、それぞれ安倍政権の手先と化しています。

しかし私は、安倍政権を支えるこの手の「秋高OB」や「秋田県人」には決して同調出来ません。

出身校出身地を問わず、膨大に存在する「県外居住の秋田県人」の多くの人々が、県内の多くの人々と心を合わせて「秋田市新屋へのイージスアショア設置反対!」の声を上げていくものと確信しております。

以上